

Lion

IWATE



2015.March

3.11 特集

東日本大震災当時の状況

332-B地区名誉顧問 L.中村 好雄 (北上LC)

第3回国連防災世界会議2015が3月14日(土)～18日(水)まで仙台市において盛大に開催され、私も3月14日午前中のみですが参加して来ました。

そこで、東日本大震災当時を思い出し新日鉄釜石敷地内で操業している弊社「大豆蛋白工場」と「発芽玄米工場」の当時の状況についてレポートさせていただきます。

1. 通信・連絡

3.11の地震による停電と津波による通信基地局の被災で釜石工場と連絡が取れたのは2日後の13日の午前9時頃。社員が遠野市まで出て来て被害の状況について電話にて連絡を受けた。

2. 被害状況

工場自体の被害は津波を逃

れ地震による設備のズレ、天井板数ヶ所の落下、ガラスの破損程度であった。

また、社員は当時36名おり、内9名の自宅が津波で全壊した。社員の人的な津波被害は無かったが、親族、親戚等を含めると30名前後の方が命を失った。

3. 停電等の影響

震災後停電が3月23日頃まで続いた。工場の生産復旧の為の清掃・整理等をして生産開始は3月26日だった。停電の間中は冷凍製品をチャーター便を使い北上市の営業冷凍庫に保管して貰った。

また、ガソリンが不足し移動がままならない状況が続いた物流網が寸断された為、製品は4月末まで盛岡・北上まで自社便で運搬し、発送した。

4. 直後の対応

震災時は工場に約20名泊まった。その後避難所として食堂を開放し、被災した社員の一部は5月いっぱいまで会社に寝泊まりした。

現在、仮設または見なし仮設に生活している社員は3名いる。

5. 支援物資等

ライオンズクラブを始め多くの団体より慰問品やお見舞金を頂いた。正に窮地の状態がその後も続いたが社員の雇用はなんとか守り続けることが出来ました。

3.11 特集

東日本大震災から思うこと

ミュージシャン、東京薬科大学生命科学部客員教授、広島大学大学院生物圏科学研究科客員教授 坂田 明

あれから、はや4年の歳月がたった。しかし、この国のみならず、地球上の災害は文明発生以前、以後を問わず無くなることはない。地球はずっと地殻変動を続けているからである。4年前、友人やその家族を含めて多くの人々が亡くなった。生き残った人の多くが苦難と共に生きている。地震津波は自然災害であるけれども、原発事故は人災である。問答は無い。この我々の生きている大地がプレートの上に乗って常に動いていることは紛れもない事実だし、であるがゆえに地震も津波も来る。災害があれば誰かが死ぬ。災害がなくても誰かが常に死んでいる。だが災害の最中にも人は生まれる。生死に待ったはない！被災者は自分が生き残ったことに苦しむ。周囲の人間も辛い。だから早く忘れたい！しかし忘れら

れなくて辛い人も多い。

我々すべてに人としての役割がある。生き残った人は人の命の重さを、自然界がいかにか人に知を超えた怖さを持っているか、そのことを伝え、亡くなった人を弔い、若い人たちと共に助け合いながら、明日の希望に向かって楽しんで生きていく。そのために一人一人が自分にできることをする。それは「何もできなくて役に立たない」という人も含めて、全体としてジグソーパズルのワンピースのように一人一人に役割がある。

あの震災、津波TV画面を見て音楽をやる気さえなくなりそうだった。だがしかし、であるがゆえに音楽は人の心を癒す力があることも実感した。それは演奏する側も聴く側も同じだ。目の前に故人（友人）の奥様が遺影を抱えて座っておられ、ま

た家も奥さんも流されてしまった人がいて、また被災地の生き残った人で客席が埋まっている中で、どうやって正気を保って演奏するのか!?あれからもう4年経った。事態はそう喜べない。

世の中にはものを知って行動する人がいる。知ってるのに知らんぷりをする人がいる。分かれようとしらない人もいる。わからない人もいる。これも世の中の全体図で、またジグソーパズルの一面である。だからどうするかは我々一人一人の問題だ。世の中がどうなろうと自分の人生は確実に終焉に向かうのである。わかっているのは、「他人は変えられないが、自分は変わる！」ことである。そして私は人を殺さずに、人間として死にたい。

3.11 特集

東日本大震災より4年目を迎えて

元キャビネット幹事 L.平野 嘉男 (盛岡不來方LC)

間もなく東日本大震災より4年目を迎えます。この文章が掲載される頃は経過していると思います。平成23年3月11日。当日午後 私はなぜかスタンドへ行ってガソリンを満タンにして会社に戻りました。14時26分突然の大揺れ。あの未曾有の大震災です。(満タンがあとで役立ちました)。

4年経ちましたので私の記憶もだいぶ薄れていますが、当時の活動を報告いたします。この年、相原ガバナーの下私はキャビネット幹事を務めていました。間もなくして全国のライオンズクラブよりキャビネット事務局へ支援物資の電話が続々と鳴り始めました。大変ありがたいのですが、支援物資を一旦どこに保管するか？相原ガバナーの指導のもと、キャビネット会計のL.中村均・盛岡理容美容学校(春休みで休校中)へ搬入することになりました。全国よりいろいろな支援物資が集まりました。その後石鳥谷ライオンズクラブよりお米を被災地に届けた

いとこの要請があり、全国よりの支援物資と一緒に釜石市へ送ることとなりました。現地の種市名誉顧問と連絡を取りながら当日大型トラック2台で釜石市の(年次大会の懇親会があった大型テント会場)へ搬送しました。当時の模様はライオン誌の記者が東京より来ておられて、ライオン誌に掲載されております。現地の会場は支援物資の搬入でごったがえしておりました。石鳥谷ライオンズクラブのメンバー10人位を中心に無事搬入しました。現地では食事はできませんので皆さん手弁当です。お昼は釜石市の釜石大観音近くの高台で頂きました。そこから見える海は全く穏やかでした。その後、種市名誉顧問の誘導で沿岸の被災地に向かいました。ものすごい惨状です。言葉では言い表せません。大型タンカーが栈橋に打ち上げられておりました。改めて津波の破壊力を思い知らされました。

全国よりのさまざまな支援物資は続きました。お米10トン・自

転車100台やお米10トン等々。お米10トンと支援物資は宮古市と山田町へ、県南地区は高橋第一副地区ガバナーが担当して支援物資を届けました。また相原ガバナーと私は現地のライオンメンバーと今後どのような支援物資が必要か打ち合わせをしました。とにかく現金がほしいとの事もありました。その後沿岸の被災地を相原ガバナーと高橋第一副地区ガバナーと手分けして義援金を届けて廻りました。行く場所ごとに今後の支援物資に何を要望するのかを聞いて歩きました。各市町村にも現地のライオンズメンバーと連絡を取りながら義援金を町村には30~50万円、市には100万円を高橋第一副地区ガバナーと手分けをして届けました。大変な時期ですが、どこのメンバーも相原ガバナーを歓迎して頂きました。高橋第一副地区ガバナーも同様だったそうです。その時にゴングとライオン旗が流された多くのクラブがありまして、手配して各クラブのライオン旗が完成



した後、また相原ガバナーと配布して廻りました。陸前高田ライオンズクラブでは例会をする会場も無いとの事で、LCIFの援助金より例会会場(プレハブ)を寄贈しました。

4年が過ぎましたが、まだ被災地では仮設住宅の生活が続い

ております。各地とも沿岸の土地をかさ上げしてその後に住宅地を建設するとのことで、急ピッチで工事が進んでおります。被災され亡くなられた方々のご冥福をお祈りしながら皆さんに心よりお見舞い申し上げます。ライオンズクラブのモットー「We

Serve」の精神でこれからも被災地の支援を全ライオンズクラブで実行あるのみだと思います。吉田ガバナーの絶大なるご指導をお願い致しまして報告と致します。



尾花沢LCと千厩LC交流クラブ締結式

千厩ライオンズクラブ幹事 L.小野寺 守

平成27年1月22日千厩のサンプラザ・及善にて午後5時より第1137回例会と新年会・年祝会の中で332-E地区4R1Z尾花沢ライオンズクラブ〔山形県〕とこの程交流締結式を行った。尾花沢で建設業など営み又、尾花沢ライオンズクラブ会員で千厩町出身L.菅原義弘との縁にて千厩と尾花沢LCが交互に交流を行う事になりました。

昨年の11月10日菊地会長始めL4名で最初に尾花沢LC〔山形県〕訪問致しました早々にお互いに友好クラブ結び奉仕と友愛の精神で一緒に頑張りましょうと両三役始め役員のLが締結へ準備をし締結式を迎えることになりました。

締結式には332-B地区の名誉顧問会議長L.佐々木賢治始め室根LCの室根LC副会長L.千葉繁

美始め三役の立会を戴き厳粛に執り行いました。

尾花沢LCからL.柴崎会長始め外8名のライオンの参加を戴きました。締結式の中で千厩LCL.菊地實会長が交流要綱の全文を読み上げ両会長が文章の交換を行いました。

尾花沢LCの柴崎会長より東日本大震災の復興支援に共同アクティビティとして今後協力して行きましょうと挨拶を戴きました。

今後両クラブが更に努力をし重ね将来姉妹クラブ締結なることを誓いあった。



332-B地区第61回年次大会開催案内

【大会テーマ】

デッカイ感動! デッカイ夢! デッカイ未来!
共に手を取り 新たなる前進

ごあいさつ



地区大会会長・地区ガバナー
L. 吉田昭夫

躍動の春の息吹を感じます今日この頃、皆様にはますますご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、今年度332-B地区第61回年次大会を、5月17日(日)県都盛岡市において開催いたします。

アクティビティスローガン“デッカイ感動! デッカイ夢! デッカイ未来!—青少年健全育成—”を掲げ復興の道を突き進むこの原動力に力を注ぎ、そして“Ask・1(一人誘おう)”に邁進したこの一年。お互いの成果を称えあい、友情を確かめ合い、次への前進になるべく意義のある大会である事を祈念します。

東日本大震災発生から4年。復興も新たなステージへと進む時となり、日本ライオンズも34年ぶりに誕生する山田實紘国際会長の新しい風を世界中に吹き渡らせる年を迎えます。

この第61回年次大会が、我が332-B地区の素晴らしい未来に繋がるよう、
 共に手を取り 新たなる前進! 浪漫に馳せて!

大会ホストクラブ一丸となり準備させていただきます。皆様お揃いでご来盛賜りますよう心よりお待ち致し、ここに謹んでご案内申し上げます。



地区年次大会委員長
L. 佐藤 正

【日 程】

2015年5月17日(日) 盛岡グランドホテル

◎代議員会◎

受付 8:40~9:00

委員会 9:00~9:20

◆資格審査委員会

◆議事運営委員会

◆指名選挙委員会

開会式 9:25~9:50

投票・休憩 9:50~10:15

決議会 10:15~11:00

◎大会式典◎

受付 10:30~11:00

式典 11:10~12:30

◎祝賀会◎

時間 12:40~14:40

【登録料】

L 9,000円・家族会員、LL、LS 7,000円・レオ 2,000円・事務局員 7,000円

【親睦ゴルフ大会】

2015年5月9日(土) 安比高原ゴルフクラブ スタート8:00 登録料3,000円

【ホストクラブ】

1R1Z 盛岡中津川LC、盛岡LC、盛岡不来方LC、盛岡観武LC、盛岡南LC、滝沢LC、玉山姫神LC (第60回年次大会決議済)

第1回家族及び女性チーム(FWT) 会議に参加して

332複合地区FWTコーディネーター L.矢羽々 睦子 (盛岡観武LC)

この会議に先立ち、第4回全国ガバナー会に見学で参加しました。驚きで、そこはもう表題の会場のような感じでした。国際FWTコーディネーターのMrs.サンギッタLの講演講義は力強く熱気にあふれ、心底に響きました。「この会場(男性99%)に女性が30%入れなければ、これからのライオンズの継続変革はなしえない。女性のアイデアを生かせるようにしなければなりません。女性の力を(パネルを映しながら)男性が押し出し、支え、女性に機会を与え、活躍する場を作っていただきたい。お互いに協調しサポートして下さい。」一時間に亘るお話の後、ゲーム「腕ひっぱり」で競争ではなく、協力を体感させられました。

百周年を目前にして、二百年を構築、絆のバトンの担い手にならなくてはと気負うものでした。



北から南まで8複合の女性と短時間でしたが、次期国際会長も同テーブルで懇親会、ライオンの同志は情報を交換、奉仕活動のあり方、クラブ運営、例会のあり方、共有しあいました。

私事ですが、この度複合FWTコーディネーターの任務を重く受け止め乍ら、先ずは岩手の女性会員・家族会員の皆様からご意見交換の場を持ち、女性なら

ではの収集から小さな活動へと、女性会員増強に心走って帰ってきました。

ノンライオンとのランチイベント、ファミリーウィーク、女性からコネクトする日、岩手女性フォーラム、家族会員ワークショップと任期中に夢が実現出来ますように、ライオン男性・女性のご協力をどうぞよろしくお願い致します。

次期国際会長はアスクワンは家族会員ファミリーからと、全世界に発信との事を直にお聞きし、近隣県在住の家族もOKとの事で、娘より入会申請を取り付けました。

このような機会を与えていただきまして、ありがとうございました。



テール・ツイスター登場

盛岡中津川LC —— L.岡田 俊夫

Q1 当クラブ第17代会長を務められた産婦人科医師及川正信先生が著された和・洋・中の料理レシピ本「夢味歓送」の中にも季節の鍋料理が出てまいります。

一般的にも冬の鍋料理に共通した食材の一つに春菊が上げられておりますが、じつは、その原種学名は「ハナヅノシュンギク（クラウンテージ）」といい、原産地では観賞用植物として古くから親しまれているものでもあります。

それが中国にわたり、食用として品種改良されたものが日本に伝えられたのですが、いまでは冬の鍋には欠かすことのできないものとなっております。

美味しくいただくためにも春菊の求め方がポイントとなりますが、まず、背丈が低いもので茎はできるだけ細めの、一見頼りない若いものを選ぶところから始まります。

ところで、この春菊、原産地では今でも春になるときれいな花が咲くことから観賞用として広く人々に愛でられているものなのですが…

さて、ここで問題です。春菊のもともとの原種原産地は一体、次のうちのどのあたりに発したものになるのでしょうか？ A. イギリス B. 北欧 C. 南欧

玉山姫神LC —— L.中野 昌明

次の□に漢字を入れて四字熟語を完成させ、読みもお答えください。

Q2 三寒□温
 答え _____
 読み _____
 意味 寒かったり暖かかったりすること

Q3 孟母□遷
 答え _____
 読み _____
 意味 孟子の母は子どものために三回引っ越した。教育には環境が大事ということ。

Q4 朝□暮四
 答え _____
 読み _____
 意味 表面的な利害にとらわれるまた、うまい言葉で人をだますこと

Q5 曲学□世
 答え _____
 読み _____
 意味 世間の人に気に入られるような説を唱えること

Q6 泰山□斗
 答え _____
 読み _____
 意味 第一人者

答え1：C. 南仏を中心とした欧州地中海沿岸一帯
 答え2：四 読み：さんかんしおん 答え3：三 読み：もうぼさんせん 答え4：三 読み：ちょうさんぼし
 答え5：阿 読み：きょくがくあせい 答え6：北 読み：たいざんほくと

北上国見LC 「ライオンズクラブに入会して」

L.高橋 佐久子

2014年6月、照井寛幸会長からの熱心なお誘いを受け入会させて頂きました。ライオンズクラブに関しての知識がほとんどない中での入会式当日、緊張の中に出席した初めての例会。国家斉唱に続き「ライオンズクラブの歌」、読み上げた「誓いの言葉」。何もかもが初めての経験で不安の中のスタートでした。唯一安心だったのが、隣の席に座って頂いた優しい女性、梅木忍ライオンでした。徐々に緊張がほぐれて楽しい例会だったことを思い出されます。私は9ヵ月の経験しかありませんが、献血の呼びかけ・復興支援・施設訪問懇親会・早朝清掃奉仕と参加してきました。今まで関わった事がない行事ばかりでわからないことが多々ありましたが皆様から暖かい指導を受け日々勉強中です。

当クラブは、青少年健全育成では小学生女子ソフトボール大会や剣道錬成大会など子供達のスポーツ活動への支援など、様々なボランティア活動にも尽



力されています。今後も例会やアクティビティを通じて会員とのコミュニケーションを図り、潤滑油の役割をしていきたいと思えます。思い出深いアクティビティは、知的障害者施設「萩の江学園」との交流会でした。120人分の料理を作るために女性ライオンは勿論ですが、ライオンレディの皆さんの早い時間からの活躍でした。特に奥様方のボランティアに心強く感じました。別れ際に園生の皆さんから満面の笑顔で「カラオケ楽し

かったよ！料理が美味しかったよ。また来てね！」との言葉に「また来るからね！」と感動を覚えた一日となりました。私の方が感謝したい気持ちでした。一年後ですがまた会える日が楽しみです。

当クラブ会長のテーマでもある「笑顔で築こう奉仕のかけ橋」とあるように、明るく笑顔で社会奉仕活動に積極的に携わっていき、少しでも役に立つように努めていきたいと思えます。

再来年度には、出席・計画委員長という大役を引き受けました。例会への出席呼びかけは勿論のこと、経験を積んで先輩ライオンのようになりたいと思えます。



一関LC 「献身的に…」

L. 菊池 薫

子育てや長年努めた役所勤めも終わり、一息吐く間も無く入会の話が有り何も考えずに入会し、例会等に参加はしているものの言葉自体分からないまま今度は幹事の話があり、引き受けてしまった自分の余りにも軽率な決断に後悔している今日この頃です。

入会して50年にもなる会員が在籍していることや多岐に亘る活動内容にクラブの歴史と偉大さを痛感しながら優しい周りの

方々のお言葉に支えられながらなんとか一年が過ぎようとしております。

さて、東日本大震災発生から早4年が過ぎ、ハード面や物資面での復興、支援は充実して来てはいるものの、震災時や長引く仮設住宅生活からの精神的なダメージを受けている方への心のケアは進んでいるとは言えない状況です。ライオンズのモットーでもある“奉仕”の意味を広辞苑で改めて調べてみると「献



身的に国家・社会のためにつくすこと。」とあります。今後の奉仕活動については、この「献身的に…」を意識しながら活動することが被災者の心の支援にも繋がることと信じ活動してまいりたいと思います。

最後に、何も分からない自分ですが皆様方のご支援と、会員の皆様方のご健勝、そしてクラブの益々のご発展をお祈りいたします。今後とも宜しく願います。



矢巾LC

L. 野中 毅

- 【所属】 矢巾ライオンズクラブ
- 【年齢】 60歳
- 【会社員】 会社員
- 【趣味】 韓国時代劇鑑賞とゴルフ

ライオンズクラブについては、27年程前にある方から勧められ知ってはおりましたが、当時は仕事で昼も夜も働いたり、単身赴任で6年間も秋田で勤務したりで忙しい毎日でしたので、頭の中からすっかり消えていました。

2013年の夏頃から近所のライ

オンズクラブの方々と、夜の街で偶然会ったりして意識し始め、L.横澤茂さんから勧められ入会を決意した次第です。

また、中学校の恩師が矢巾町内に住んでおられ、クラス会の時に定年間近の私達へ「定年後は、地域や部落への貢献をして行きなさい」と話していただき、それも一つのきっかけになったと思います。

20代から30代の前半は、ある青年活動を通して当時の師から「社会の善化活動や奉仕活動に精進しなさい」とも言われた事も

あり、ライオンズクラブの地域貢献や奉仕活動、青少年への支援等、自然に受け入れることができました。

今後も、体力とお金が続く限りライオンズクラブの活動に積極的に参加できるよう精進してまいりたいと思います。



デッカイ感動！ デッカイ夢！ デッカイ未来！



「第11回 前沢区内小学生新春書き初め大会」を、実施して

前沢ライオンズクラブ幹事 L. 柏山 修治

1月12日午前9時、雪の無い穏やかな朝を迎えた成人の日に、前沢ライオンズクラブが主催する前沢区内小学生新春書き初め大会に参加する子供たちが、ぞくぞくと会場に集まって来ました。

昨年は前沢区内の7校が統合して新生前沢小学校が誕生いたしました。奥州市内では児童数が一番のマンモス校になり、更なる飛躍が期待されるなか同校の1年生から6年生までの総勢50名が参加し開会セレモニーの終了後、各学年に課題文字が渡されると正座して精神統一し筆先に集中、そして半紙に一齐に筆を走らせました。

約1時間の書き初めの間、誰一人として騒ぐこともなく真剣に書道に取り組む姿は、日本の



伝統文化が正しく継承されているように感じました。

前日にはクラブ主催の剣道大会もあり、まさに動と静の文武両道精神を子供たちから改めて教えられたことに、今後もっと広く伝え守っていかなければと

志を強く持った次第です。

またこの日に主管頂いた前沢区内函南書道会の先生方のご指導に感謝申し上げ、これからも前沢ライオンズクラブの青少年健全育成事業を発展させることを誓った1日でした。



～ デッカイ将来 ～



L. 前田 秀男（盛岡不來方LC）

先日、震災から4年目を迎えた。その少し前の岩手日報につぎの記事が掲載された。

「沿岸部は子どもの減少が深刻化している。2010年と14年を比較すると0～18歳の減少率は沿岸12市町村で13.5%で、全県の減少率に比べ5.4ポイント高い。最も高かった大槌町は25.2%に上る。（記事から一部抜粋）」

その大槌町で、子供達のために奮闘している人がいる。その人は、大槌町小槌にある学校法人緑学園の理事長兼みどり幼稚園園長の佐々木栄光先生である。みどり幼稚園は、昭和40年に佐々木栄雄さん（現園長の父）が設立し、以来親子2代で運営してきた地元でも歴史のある幼稚園のひとつである。そのみどり幼稚園があつた震災で全壊となり園長（当時）も震災の犠牲となって幼稚園としての運営が出来なくなってしまった。しかし、現園長（佐々木栄光先生）は「とにかくこの子供達を何とかしな

くては」の一心で、避難所生活をしながら大槌高校の施設を借り、その後仮設施設に移って幼稚園を再開させた。しかし多くの制約を受ける仮設施設での幼稚園生活は、大人だけでなく子供達のストレスは相当なものだったと聞く。園長としては何とか「子供達がストレスなく大きな声を出し、自由に走り回れる環境」にしなければ、という強い使命感を感じたことだろう。

しかし、幼稚園の再建には土地や資材の高騰がハードルとなり困難を極めた。

幼稚園再建に向け資金調達のために園長自ら奔走していた折、海外青年協力隊の世話人であり当クラブの会員でもある須永ライオンからの声を受け、更に姉妹クラブである京都洛北LCの協力も頂き、当クラブの会長（当時）L.山崎より2014年6月に資金の一部を支援することとなった。佐々木園長の熱意が伝わり、当クラブの他にも海外赤十字を

はじめ多くの団体からの支援で、昨年10月12日より現在の場所に移転して、子供達が自由に走りまわられる幼稚園が再建された。

私がみどり幼稚園を訪問したのは、その約4か月後の3月5日である。思う様に復興が進まぬ旧市街地を見つつ、迷いつつも新しい幼稚園に辿り着くことができた。佐々木園長は、見るからに温厚でやさしい園長先生という印象である。限られた時間の中、子供達の元気な声を効果音に園長先生から話を伺うことができたが、園長先生が最後に言われた「子供の数イコール町の将来」という言葉が印象に残っている。世は少子化云々と騒ぐが、被災地にあつては転出という深刻な問題もあることを思い知らされた。

この子供達が地元に残り、この町の復興の一旦を担い、そしてこの町の歴史を見届けて欲しいと強く願う。





2月のアクティビティ

1R1Z		
盛岡LC	16日	ひかりの箱募金
盛岡不來方LC	12日	ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト
盛岡中津川LC	1日	献血推進活動 バレンタイン献血
	5日	ひかりの箱募金
	8日	盛岡中津川LC杯争奪第36回盛岡地区少年剣道大会開催
	20日	薬物乱用防止教室
	19日, 20日, 21日	仁王小学校スキー教室指導者協力
盛岡観武LC	13日	「第7回青山雪あかり」協賛
盛岡南LC	18日	紫波地区地域安全推進協議会
滝沢LC	15日	サケの稚魚育成事業
玉山姫神LC	14日	啄木かるた大会への協賛金
1R2Z		
岩手LC	27日	使用済み切手 800枚送付
二戸LC	2日	ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト
	5日	薬物乱用防止教室
	10日	献血推進活動 バレンタイン献血
西根LC	2日	薬物乱用防止教室
	9日	献血推進活動 バレンタイン献血
	17日	市内中学校へ応援旗他寄贈
	20日	八幡平市役所へ乙女の像移転作業とガラスケース寄贈
安代LC	7日	第20回安代LC杯安代地区スキー大会
	26日	ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト表彰式
2R1Z		
花巻LC	～2月	ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト
	11日	献血推進活動 バレンタイン献血
紫波LC	6日	にいやま荘・百寿の郷慰問
	18日	新1年生のための防犯・交通安全教室
石鳥谷LC	20日	石鳥谷レオクラブ入会式
	28日	チャリティ麻雀大会（事業資金獲得）
大迫早池峰LC	—	
花巻東LC	24日	ひかりの箱募金
東和猿ヶ石LC	—	
矢巾LC	5日	新1年生のための防犯・交通安全教室
	6日	矢巾町民劇場開催支援・協賛金支出
2R2Z		
北上LC	7月8日-29日	ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト
	1月4～31日	資源回収リサイクル
	6日	東日本大震災被災者支援 チャリティ寄席開催
和賀LC	26日	薬物乱用・喫煙防止啓発セミナー
	2日	資源回収リサイクル
北上国見LC	6日	東日本大震災被災者支援 チャリティ寄席開催
	6日	東日本大震災被災者支援 チャリティ寄席開催
	17日	献血推進活動
江釣子LC	20日	使用済み切手 3514枚送付
	6日	東日本大震災被災者支援 チャリティ寄席開催
	8日	献血推進活動 バレンタイン献血
	9日	図書費寄贈
3R1Z		
水沢LC	18日	善行賞表彰
江刺岩手LC	1月31日, 2月1日	第9回江刺岩手LC杯フットサルカーニバル
	5日	献血推進活動
前沢LC	15日	献血推進活動 バレンタイン献血
水沢中央LC	1月31日	毛越寺 年迎えの儀
	3日	スカウト協議会助成
金ヶ崎LC	～2月3日	ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト
	～5日	ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト表彰式
胆沢岩手LC	8日	献血推進活動 バレンタイン献血
胆沢岩手LC	27日	胆沢地区小中高生 児童生徒表彰
3R2Z		
一関LC	22日	献血推進活動

平泉LC	3日	献血推進活動 バレンタイン献血
	16～20日	ライオンズ国際平和ポスター展
花泉LC	24日	使用済み切手 1000枚送付
	24日	さくらの園へ資源再利用品の収集支援
一関中央LC	26日	新入学児童ランドセルカバー
	26日	ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト
一関厳美深LC	1日	第30回一関雪まつり共催
4R1Z		
千厩LC	2日	ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト
大東岩手LC	15日	第37回大東図書館まつり
東山LC	—	
藤沢岩手LC	19日	黄海小学校 ソフトボールチーム全国大会出場支援
川崎岩手LC	—	
室根LC	4日	ひかりの箱募金
	11日	東日本大震災被災者支援 如月寄席 釜石盛岩寺
	12日	如月寄席 室根西小学校
	15日	ブックスタート事業絵本贈呈式
4R2Z		
大船渡LC	18日	声の図書館整備協力
陸前高田LC	17日	小中学生ものづくり体験教室
住田LC	3日	世田米、有住保育園節分行事
大船渡五葉LC	1日	献血推進活動 バレンタイン献血
	7日	東海社会文化事業基金顕彰式
5R1Z		
宮古岩手LC	11日	献血推進活動
	21～22日	第14回中学生バレーボール大会
	25日	暴力団追放宮古地区県民会議研修会
久慈LC	26日	使用済み切手 3000枚送付
陸中宮古LC	4日	レディの会奉仕活動 老人介護施設桜ヶ丘
	11日	献血推進活動
	12日	レディの会奉仕活動「世界の子どもたちにワクチンを届けよう」
	21日	第14回中学生バレーボール大会
	25日	暴力団追放宮古地区県民会議研修会
	25日	桜ヶ丘ボランティア懇親会
	13～26日	千羽鶴製作
田野畑LC	—	
岩泉龍泉洞LC	22日	東日本大震災復興支援 イベント列車運行協賛
5R2Z		
釜石LC	26日	卒業レオを送る会
	18日	第404回LL奉仕活動
	11日	東日本大震災被災者支援 如月寄席 釜石盛岩寺
	18日	LCIF\$1000献金 2名
遠野LC	3日	ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト
	4日	リサイクル品の回収
釜石リアスLC	19日	使用済み切手 1000枚送付
大槌LC	21日	大槌町役場献花台周辺清掃
陸中山田LC	6日	山田町児童生徒科学発表会
	24日	ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト
ライオネスクラブ		
西根LS	2日	薬物乱用防止教室
	9日	献血推進活動
レオクラブ		
盛岡LEO	28日	ひかりの箱街頭募金並びにカレンダー・展覧会贈呈式
早池峰LEO	—	
石鳥谷LEO	20日	新入会員入会式&卒業レオ送る会
北上LEO	13, 15日	平和ポスター展示会
一関二高LEO	—	
釜石LEO	26日	卒業レオを送る会

浪漫に馳せて！

地区ガバナー L. 吉田 昭夫
(盛岡中津川LC)

第3回キャビネット会議も終り3月～4月に入りますと、332-B地区は先達クラブの、40年～55年と周年記念事業が目白押し、先輩L諸氏の草創におけるライオンズの先見性とエクステンションには深甚なる敬意を表します。不肖私、37期ガバナーもラストスパート「Ask1」に懸命です。2015年2/28現在、達成率12.24% (332MD14%、全国18.8%) 現在のところ、皆さんの努力にかかわらず、35地区中、23位です。倍増によるしく御理解お願いします。

さて、今期、画期的に華々しくも東京で「全日本ライオンズ女性会員フォーラム」が開催され、300名の女性Lが集いました。

パネルディスカッションでは「女性の力を生かすには、男性の意識改革と共に、女性自身も天井を取り払い、自分を客観的に評価して、役職を積極的に受け入れる必要がある」と意見集約されています。今期、女性ガバナーは全国で唯一1人、333-C地区(千葉・東京)L. 波木奏美は、クラブの活性化を目指し、奉仕活動に誇りを持てる工夫と、青少年の健全育成は、私のライフワークとして、何があるう

とも努力を続ける覚悟と云うLです。何んと素晴らしい事です。

このような背景のもと、山田實紘国際会長、実現を期に、日本において今期より「家族及び女性チーム (FWT)」がパイロットプログラムとして発足しました。これは女性会員と併せて、家族会員の増強が主軸にあります。332MDコーディネーターには332-B地区より推せんL. 矢羽々睦子(盛岡観武LC)が選出されました。大いなる躍動を期待しますとともに、皆さんからの活達、かつ建設的なご意見を期待しています。

山田實紘国際第一副会長が云っている言葉に、「日本ライオンズは保守的、閉塞的で……世界の潮流から取り残されている。勇気を持ち、思い切った改革で前進しましょう。」があります。私はその通りと思っています。会員の増強によりWeを多く、Serveを大きくしましょう。

あなたのクラブ、あなたのやり方で！
— クラブに合った例会づくり —

会員動向	
2月 新入会員一覧	
クラブ名	会員名(新入/再入/転入)
盛岡中津川LC	一戸 淳 矢
	一戸 陽 子
	鎌 田 淳 子
	嶋 野 悦 世
玉山姫神LC	坂 本 良 次
	高 橋 季 之
石鳥谷LC	熊 谷 和 代
花巻東LC	酒 井 利 政

北上LC	畠 山 博 人
江刺岩手LC	阿 部 峯 雄
水沢中央LC	及 川 秀 子
	森 山 恭 子
千厩LC	佐々木 裕 介
東山LC	千 葉 和 子
大船渡LC	菊 地 朝 子
	榊 田 悦 子
	榊 原 貴 美 子
陸前高田LC	岩 崎 愛
	大 坂 貴 樹

陸前高田LC	菊 池 克 美
	高 萩 洋 子
	長谷川 祐 一
	吉 田 布 美 子
釜石LC	金 野 ゆかり
	佐々木 比呂志

1月 MJF \$1000献金者		
クラブ名	会員氏名	MJF回数
釜石LC	野村 周司	2
釜石LC	大和田助康	3

計報

北上国見LC
故 L. 阿部 善一

享年77歳
(1984年10月入会)
2月7日ご逝去



二戸LC
故 L. 門ノ沢 興助

享年82歳
(1978年10月入会)
2月15日ご逝去



謹んでご冥福をお祈り申し上げます

アクティビティ フォトグラフ



盛岡中津川LC

薬物乱用防止教室



滝沢LC

サケの稚魚育成事業



二戸LC

薬物乱用防止教室



2R2Z合同

東日本大震災被災者支援 チャリティ寄席開催



江刺岩手LC

第9回江刺岩手LC杯フットサルカーニバル



一関中央LC

ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト



住田LC

世田米、有住保育園節分行事



宮古岩手LC

第14回中学生バレーボール大会



釜石LC

卒業レオを送る会



西根LSC

バレンタイン献血

編集後記

「ライオンいわて」も回をかさね残り3回となりました。メンバーの方々には原稿の依頼等でご苦勞をお掛けしておりますが今後共宜しく願っています。また、原稿の依頼に関わらず掲載して欲しい記事が有りましたら、編集委員会まで願っています。

残りの回も皆様のお役に立ち、楽しく読んで頂けるように紙面づくりを行ってまいりますので、「ライオンいわて」を、どうぞ宜しくお願いいたします。

副編集長 L. 米澤俊夫

ライオンズクラブ国際協会332-B地区 キャビネット事務局

ライオンいわて編集委員会

発行 2015年3月25日

発行人：L. 吉田昭夫（盛岡中津川LC）
 編集長：L. 松本征子（盛岡中津川LC）
 副編集長：L. 米澤俊夫（盛岡中津川LC）
 編集委員：L. 高橋次郎（盛岡LC）、L. 前田秀男（盛岡不来方LC）、
 L. 鈴木耕平（盛岡中津川LC）、L. 佐藤博藏（盛岡観武LC）、
 L. 小野寺平信（盛岡南LC）、L. 千田幸一（滝沢LC）、
 L. 中野昌明（玉山姫神LC）

印刷：川口印刷工業株式会社
 事務局：〒020-0022 盛岡市大通3-6-12開運橋センタービル4-7号
 TEL 019-621-1415 FAX 019-621-1420
 E-mail : office-332bmorioka@almond.ocn.ne.jp

表紙写真：「山田線は松草駅近く」1月号の兜明神も松草駅も内陸と沿岸の中間ぐらいの位置にあります。線路の先の沿岸の地の幸いを祈らずにはられません。 L. 松本征子